

# 高岡市立博物館年報

第 37 号

令和 4 年度

高岡市立博物館

## はじめに

高岡市立博物館は、当地の歴史・民俗・伝統産業にかかる資料の収集・保管、展示、また調査研究や教育普及など、さまざまな事業の継続と充実に努めています。今年度も多岐にわたる事業を実施しました。

まず展示事業として常設展「高岡ものがたり」（通年開催）では、高岡の歴史・民俗・伝統産業等の分かりやすい紹介に努め、常設展内のお宝コーナーでは、4回のミニ展示を順次開催しました。前年度末から7月中旬にかけて開催した館藏品展「昔の道具とくらし」では、当館が収蔵する衣・食・住をはじめとした古い生活道具類「民具」に焦点をあて、それぞれの民具がもつ歴史や用途に加え、その時代を生きた人々の暮らしについて展示・紹介しました（特集展示コーナーでは双六・見立番付を展示）。また7月末から開始した特別展「没後100年 高峰譲吉記念展」では、令和4年(2022)に高岡出身の世界的科学者・実業家で日米親善に尽くした高峰譲吉(1854～1922)の没後100年を記念し、当館寄託の高峰譲吉関係資料のほか、高岡市教育委員会に寄贈された譲吉のニューヨーク郊外の別荘「松楓殿」関連資料を展示し、高峰譲吉の功績について紹介しました。11月末から開始した館藏品展「新資料展 -国宝指定答申記念 勝興寺関連文書を中心に-」では、令和4年10月12日に国宝指定答申(12月12日指定)のあった勝興寺関連の古文書などを展示・紹介しました。2月からの館藏品展「昔の道具とくらし」では、当館が収蔵する古い生活道具類「民具」を展示・紹介しました（特集展示コーナーでは「嫁のれん」を展示）。

教育普及事業としては、外部講師による郷土学習講座(全3講)、当館職員による特別展講演会(1回)、古文書講座(全6講)のほか、令和4年度初開催となる伝統産業講習会「漆製品の取扱い」(1回)を行いました。また「呈茶の会 -博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんか-」(春・秋)のほか、桜の開花時期にあわせた屋上開放イベント「古城公園展望台」を開催しました。そのほか、講師・委員の派遣、出演、寄稿、監修、制作協力等のほか、高岡テクノドームでの博物館サテライトギャラリーも引き続き実施しました。

資料収集・保存活動では、高岡の歴史・民俗・伝統産業等に関する資料の収集・保存に努めました。また高岡市太田の国泰寺(臨済宗国泰寺派大本山)より伝近藤勇所用当世具足等の資料の寄託を受けました。

調査研究活動では、日ごろ博物館に寄贈される資料の調査・整理に取り組みました。また昨年度に引き続き、国登録有形文化財「高岡鋳物の製作用具及び製品」の重要指定へ向けた当館収蔵の鋳物資料調査のほか、「産学官連携に基づいた地域資料継承支援事業」による高岡市伏木地区の古文書等歴史資料の調査研究活動も行いました。加えて当館収蔵資料情報のデジタル化を進め、計1,222件の資料情報をインターネット上で公開しました。

地域の歴史と文化の継承という博物館の任務には、決して終わりはありません。それは幅広い方々のご理解、ご協力があってこそ、初めて可能になります。職員一同、さらに親しまれる博物館を目指して努力を重ねて参ります。日頃からのご協力に厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも当館事業に一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和6年2月

高岡市立博物館  
館長 廣瀬 由美子

目次	
I	事業の状況
1	展示事業
(1)	常設展「高岡ものがたり－楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアム－」…1
(2)	館蔵品展「昔の道具とくらし」……………1
(3)	特別展「没後100年 高峰譲吉記念展」……………1
(4)	館蔵品展「新資料展－国宝指定答申記念 勝興寺関連文書を中心に－」 2
(5)	館蔵品展「昔の道具とくらし」……………3
2	教育・普及事業
(1)	郷土学習講座（全3講）……………4
(2)	講演会、講座、展示説明会等……………6
(3)	ワークショップ等……………7
(4)	刊行物の発行……………7
(5)	団体見学、展示解説対応……………8
(6)	他団体への協力……………8
(7)	レファレンス……………14
(8)	インターネット等による広報・普及……………14
3	収集・保存活動
(1)	購入資料……………15
(2)	寄贈資料……………15
(3)	保存活動……………17
4	調査・研究活動……………18
5	高岡市立博物館に親しむ会との連携……………18
II	管理運営の状況
1	職員名簿……………21
2	歳出予算……………21
3	高岡市立博物館協議会……………21
4	高岡市立博物館条例……………22
5	高岡市立博物館条例施行規則……………23
6	入館者数……………24
III	施設の状況
1	沿革……………25
2	施設概要……………26
3	利用案内……………27

# I 事業の状況

## 1 展示事業

### (1) 常設展「高岡ものがたりー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」

〔会期〕 令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金) 〔308日間・通年開催〕

〔会場〕 本館第1・2常設展示室、休憩室

〔趣旨・内容〕

高岡の歴史、祭礼などの民俗、銅器・漆器などの伝統産業等について、分かりやすい紹介に努めている。「民具コーナー」のほか、「お宝コーナー」では時宜に合わせて展示替えを行うなど、絶え間ない発信に努め、展示の充実を図った。

〈お宝コーナー〉

- ① 「商店広告にみる高岡」(4月16日～6月19日)
- ② 「高岡初の町絵師・堀川敬周の新収品」(7月16日～9月19日)
- ③ 「高岡漆器の魅力」(10月22日～12月25日)
- ④ 「国泰寺のお宝① 伝近藤勇の甲冑」(令和5年1月21日～3月21日)

〔展示資料リスト〕 (平成19年度年報に掲載)

### (2) 館蔵品展「昔の道具とくらし」

〔会期〕 令和4年4月1日(金)～7月10日(日) 〔87日間〕

〔会場〕 新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

本展では、当館収蔵の古い生活道具類「民具」を展示・紹介した。小学校3年の授業単元にも対応した。特集展示コーナーでは「双六・見立番付」を展示・紹介した(令和4年2月5日より年度をまたいで開催したもの)。

〔展示資料リスト、ポスター・チラシ画像、展示風景〕 (令和3年度年報に掲載)

### (3) 特別展「没後100年 高峰譲吉記念展」

〔会期〕 令和4年7月30日(土)～10月10日(月・祝) 〔63日間〕

〔会場〕 新館第1・3企画展示室

〔趣旨・内容〕

令和4年(2022)は高岡出身の世界的科学者・実業家で日米親善に尽くした高峰譲吉(1854～1922)の没後100年にあたる。本展では、高峰譲吉博士顕彰会所蔵で当館寄託の高峰譲吉関係資料をはじめ、近年高岡市教育委員会に寄贈された譲吉のニューヨーク郊外の別荘「松楓殿」に関わる調度品、工芸品などを展示し、“無冠の大使”高峰譲吉の功績について紹介した。

※高峰譲吉博士別荘「松楓殿」関係資料展示室(新館第3企画展示室)は通年で開催予定。

〔印刷物〕

ポスター (B2版、片面4色刷、150枚)、チラシ (A4版、表1色刷、1,500枚)、資料目録 (A4版、1色刷、総頁数35、300部)

〔展示資料〕 計108件149点

〔展示資料リスト〕 (当館HPに掲載)



チラシ・ポスター



展示風景 (第1企画展示室)



高峰譲吉博士別荘「松楓殿」  
関係資料展示室 (第3企画展示室)

(4) 館藏品展「新資料展 ―国宝指定答申記念 勝興寺<sup>もんじよ</sup>関連文書を中心に―」

〔会期〕 令和4年11月26日(土)～令和5年1月15日(日)〔39日間〕

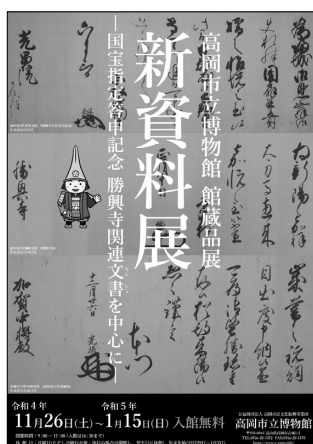
〔会場〕 新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

当館では日ごろから高岡の歴史・民俗・伝統産業等に関わる様々な資料を収集し、適切に保存・管理、展示・公開している。そのうち館藏品展は近年新たに収蔵された博物館資料を展示しているが、本展では特に令和4年(2022)10月12日に国宝指定答申(12月12日指定)のあった勝興寺関連の古文書などを中心に展示・紹介した。

〔展示資料〕 計63件66点

〔展示資料リスト〕 (当館HPに掲載)



チラシ・ポスター



展示風景

## (5) 館藏品展「昔の道具とくらし」

〔会期〕 令和5年2月4日(土)～3月31日(金)〔48日間〕

〔会場〕 新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

本展では、当館収蔵の古い生活道具類「民具」を展示・紹介した。特集展示コーナーでは「嫁のれん」を展示した。小学校3年の授業单元にも対応した。

〔展示資料〕 計68件76点

〔展示資料リスト〕 (当館HPに掲載)



チラシ・ポスター



展示風景

## 2 教育・普及事業

### (1) 郷土学習講座

郷土の歴史・文化など幅広い分野について紹介し、理解を深めていただく連続講座を開催した。

#### 〔第1講〕「越中の嫁のれん」

日時 6月25日(土) 午後2時～3時30分

会場 新館3階講堂(以下同)

講師 嘉瀬井 恵子 氏(富山大学 地域連携戦略室 特命助教)

※役職は当時のもの(以下同)

聴講者 15人



嘉瀬井恵子氏

**要旨** 嫁のれん(花嫁のれん)とは、婚家の仏間の入り口に掛けられる暖簾のことである。嫁はその婚礼当日に暖簾をくぐり、仏壇参りのあと結婚式に臨む一生に一度のこととされる。暖簾の上部には母の紋(女紋)が染め抜かれ、「持参財」の意味があるといわれる。嫁のれんの多くは、加賀友禅など友禅風の染め技法で仕立てられる。嫁のれんの地域は女紋が風習として残る地域であり、幕末～明治初期より加賀藩の領地(加賀・能登・越中)に伝わり、富山県では庄川以西、石川県では北は七尾市・志賀町、西は金沢市辺りまでという狭い範囲の文化であるといえる。

嫁のれんの生地には、木綿・縮緬・綸子などがある。縮緬は生地が伸びず丈夫であるためよく用いられ、縮緬の一種である「鬼しぼ縮緬」は普通の縮緬に比べて、しぼ立ち(生地表面の凹凸)が粗いのが特徴である。色は明治期には濃い青を用いた藍染が多い。大正期には淡く薄い青や紫が多い。昭和初期には薄紫や青、赤などの淡い色が中心だが、昭和30年代以降は塗料に化学染料が用いられたことや、作業工程の「蒸し」技術の向上により鮮やかな色合いのものが多くなる。昭和末期にはかなり多彩で華やかな嫁のれんが増えてくる。技法には手書き・描上・型染め・糊止めなどがある。描上友禅(無線友禅)は糸目糊による防染を行わず生地に直接塗料で絵模様を描く技法である。模様については明治後期には宝尽くし・鶴亀・松に鶴、大正期には桐に鳳凰・富士に松原・牡丹に孔雀、昭和初期は鴛鴦・宝船、昭和20年代は唐子、同50年代は花車に唐子など、時代ごとに模様の流行がみられる。

嫁のれんの風習は、暖簾の絵柄・図柄を通じて、娘が嫁ぎ先で肩身の狭い思いや恥ずかしい思いをさせたくないという、子を思う親の愛情表現の一つでもあるといえる。それは地域に伝わる文化の継承という観点からみても「嫁のれんをくぐる」という経験は、貴重な文化や経験の継承の場でもある。それは次世代の娘にも自分と同じ経験をさせたいという親の熱い思いの表れでもあり、今後もこうした文化が永く継承されていくことを願っている。(文責 宇川)

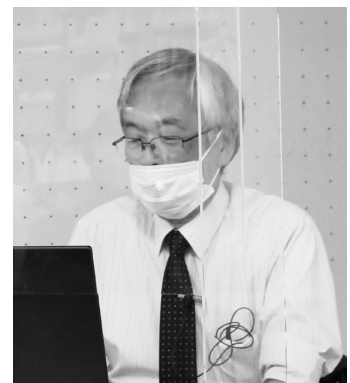
#### 〔第2講〕「知の拠点「山本読書室」と越中高岡

—京都本草学と幕末高岡町医者たちの教養をめぐる—

日時 11月12日(土) 午後2時～3時30分

講師 吉野 俊哉 氏(富山県 [立山博物館] 主任専門員)

聴講者 24人



吉野俊哉氏

**要旨** 本草漢学塾「山本読書室」(以下、読書室と略す)は、高岡出身の医者で儒学者の山本封山(1742～1813)が天明4年(1784)に京都・油小路に開いた。読書室は儒学・医学・本草学を講じた私塾として、明治36年(1903)までの約120年にわたって多くの塾生が学んだ。読書室の初代・山本封山は高岡町役人・日下家(茶木屋)出身で、その所縁で当塾には越中、特に高岡の町医者や僧侶らが多くおり、出身地が判明する塾生のうち越中、特に高岡出身者は京都出身者に次いで2番目に多かった。読書室は初代・山本封山ののち、2代・山本亡羊(1778～1859)、3代・山本榕室(1809～64)、4代・山本溪山(1827～1903)と続く。

また塾の特色である博物研究会「読書室物産会」は、薬草だけでなく各地の珍しい動植物、鉱物などを陳列して見せ、情報交換をして研究するセミナーであり、そこでは毎回出品目録が作られ、実物を見ながらその知識を交換していた。

2代・山本亡羊は天保5年(1834)、高岡など北陸地域を来訪し『入越紀行』を著した。この旅で亡羊は、高岡で父封山以来の弟子や親戚らとの交流をはじめ、道中の植物採集などを行った。4代・山本溪山は山本家最後の本草学者として読書室を受け継ぎ、特に明治以降、西洋医学の発達による近代化の中で衰退する本草学及び読書室の振興発展に尽力した。嘉永4年(1851)には高岡をはじめ能登・越中・立山へ来訪して『入越日記』を著し、高岡の町医者や縁者との交友、二上山や立山各所での採薬やそれらを押し葉にして持ち帰り、写生図も多数描くなどした。

近世高岡では、町医者たちが「神農講」という研究会・教養サロンを作り活動していた。のちには『方意便蒙』(長崎家文書)にみられる「物産展示」が定期的に行われ、本草学や天産物に関する様々な知識が共有された。読書室の教養や学風は「神農講」のような機会に、入門者との情報交換を通じて高岡の町医者らの間で共有されていた。

以上のことから京都の読書室での本草学が間接的に高岡の町人文化を支え、学芸活動の中心を担った町医者たちの教養形成のために役割を果たしていたといえる。またそれが今に繋がる高岡の文化的活動にも繋がっているのではないかと考えられる。

(文責 宇川)

### 〔第3講〕 「加賀藩<sup>とむら</sup>十村の職務と格式」

日時 12月3日(土) 午後2時～3時30分

講師 上田 長生 氏(金沢大学 人間社会研究域 准教授)

聴講者 24人

要旨 江戸時代、加賀藩の繁栄を支えたのは高岡市域を含む加賀・能登・越中の村々であり、武士が百姓を支配する社会で、領主の支配を実質的に支える中間領域(加賀藩では「十村」)が大きな役割を果たしていた。

十村の起源は慶長9年(1604)に遡るとされ、史料上で初めて十村がみえるのは慶長12年(1607)である。十村の役割は、農業の督励、村回り、用水の点検・整備など多岐にわたる。また加賀藩では改作法を通じ、十村代官に藩の領地(蔵入地)の年貢を徴収させ、御蔵に収めさせた。十村には藩から扶持(給料)をもらう無組御扶持人十村(戸出の川合家や砺波の田中家)や御扶持人十村のほか、鋤役米や代官口米などで収入を得る組持十村(平十村)などがいた。

加賀藩の十村たちは1年に数回、月に10日ずつ金沢の算用場へ交代で詰め、藩の指示を各郡へ伝達した。また加越能各郡で決められた相談所で3～9月に毎月(時期により隔月)十村たちは寄合を行い、集団的に各郡の村々を支配した。藩は十村を権威付け、各郡を数名～数十名の十村に集団的に支配・運営させることで安定した支配を行おうとした。十村制はこうした藩の後押しを受け、段階的に確立していったといえる。

また十村の身分については「他国応接」・「国境廻り」・「火災時」に限り、臨時に帯刀を許されていた。十村は平生名字帯刀が許されておらず、18世紀後半に確認できる限りで7回の訴願を行っている。寛政13年(1801)の訴願では、数万人の「人(百姓)支配」を行う御扶持人十村や平十村は重要な役であり、前田家歴代の恩顧を根拠に十村集団としての平生名字帯刀を願う特徴がみられる。このことは、天明8年(1788)の「書替」(「御算用者方殿附之義二付諸事一卷」/富山県立図書館・杉本文書)の史料にも表れており、ここでは十村が名前を呼び捨てされたことに反発し、藩に「殿付」の「書替」に文書を差し替えさせたという事例が残っている。

おわりに広大な加賀藩領の安定した支配・運営を可能にしたのは、藩から実質的な村々の支配を任せられた十村が、加賀藩と百姓たちの間で苦心しながら、きめ細やかな農政の実質的な担い手として活躍したからである。十村たちは寄合を行いながら、記録・文書を残して一貫した地域の支配・運営を目指した。その中で、十村たちは何代にもわたって人支配を行う「重役」としての過剰なまでの自意識を育むことに繋がったといえる。

(文責 宇川)



上田長生氏

## (2) 講演会、講座、展示説明会等

### ① 特別展「没後100年 高峰譲吉記念展」講演会 (1回)

日 時	演 題	講 師	受講人数
8月6日(土) 午後2時～3時30分	「高峰譲吉の偉業」	仁ヶ竹主幹	29人

会場：新館3階講堂／定員：30名

### ② 特別展「没後100年 高峰譲吉記念展」展示説明会 (全3回)

回	日 時	講 師	受講人数
第1回	7月30日(土) 午後2時～2時30分	仁ヶ竹主幹、 宇川主任学芸員	15人
第2回	8月27日(土) 〃		8人
第3回	9月24日(土) 〃		17人

会場：新館第1・3企画展示室

### ③ 伝統産業講習会 (1回)

日 時	演 題	講 師	受講人数
8月9日(火) 午後2時～3時30分	「漆製品の取扱い」	柴田 治之氏 (伝統工芸高岡漆器 協同組合 理事長)	8人

会場：新館3階講堂／定員：10名程度

### ④ 古文書講座「初めての古文書教室」(全6講)／受講者累計109人

回	日 時	講 師	受講人数
第1講	9月15日(木) 午後2時～3時30分	仁ヶ竹主幹	28人
第2講	9月29日(木) 〃		28人
第3講	10月13日(木) 〃		21人
第4講	10月27日(木) 〃		22人
第5講	11月10日(木) 〃		22人
第6講	11月24日(木) 〃		22人

会場：新館3階講堂／定員：30名

### ⑤ 館蔵品展「昔の道具とくらし」展示説明会 (全2回)

回	日 時	講 師	受講人数
第1回	2月 4日(土) 午後2時～2時30分	宇川主任学芸員	3人
第2回	3月11日(土) 〃		4人

会場：新館第1企画展示室



伝統産業講習会「漆製品の取扱い」



古文書講座「初めての古文書教室」

### (3) ワークショップ等

#### ① 屋上開放「古城公園展望台」(桜の満開時期に合わせて開催)

- ・ 日 時 4月1日(金)～3日(日)、9日(土)～10日(日)  
各日午後1時～3時(9日は午後12時～3時) ※9日～10日は親しむ会会員の協力あり
- ・ 来場者数 計614人

#### ② 「呈茶の会-博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんか-」(全2回)

日 時	席 主	参加者
4月9日(土) 午前10時～午後3時	新田宗美氏(裏千家茶道 高岡支部正教授)ほか社中	160人
11月5日(土) 午前10時～午後3時	茶道裏千家淡交会青年部	152人

会場：当館茶室「松聲庵」



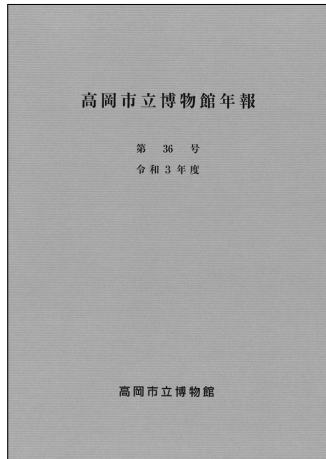
屋上開放「古城公園展望台」



呈茶の会(春)

### (4) 刊行物の発行

- ・ 高峰譲吉関係資料目録(A4判、35頁、300部)
- ・ 機関誌『博物館だより』第29号(A4判、4頁、3,000部)
- ・ 年 報『高岡市立博物館年報』第36号(令和3年度)(A4判、35頁、200部)



『高岡市立博物館年報』第36号



『博物館だより』第29号

(5) 団体見学、展示解説対応

団体見学 計44件(うち展示解説20件) 1,174人

(6) 他団体への協力

① 講師派遣 計26件(31回)

〔講師派遣一覧〕

月日	依頼者 会合名	演題・内容	講師
4月2日	高岡ライオンズクラブ 認証65周年記念大会記念講演会	講演「東西美術交流の功労者 林忠正」	仁ヶ竹主幹
4月27日	高岡商工会議所 高岡法科大学寄付講座「高岡学」(第4回)講演会	講演「前田利長・利常と高岡」	仁ヶ竹主幹
6月11日	氷見市立博物館 とやま西園域連携事業「歴史文化の学び交流事業」講演会	講演「日本遺産・北前船寄港地「伏木」	仁ヶ竹主幹
6月30日	高岡市立野村公民館 「萩野学級」講演会	講演「古文書にみる野村の歴史」	仁ヶ竹主幹
7月6日	高岡憂楽会 総会講演会	講演「博物館のちょっとコワイ話」	山本総括主査
7月9日	高岡市デザイン・工芸センター 第28期(前期)高岡市伝統工芸産業人材養成 スクール「高岡漆器探求コース」	展示解説「高岡の漆器産業について」	仁ヶ竹主幹
9月1日	高岡市企画課 京都外国語大学「高岡市コミュニティ・エンゲージメント・プログラム」	講義と常設展示解説 「高岡の歴史と伝統産業」	仁ヶ竹主幹
9月8日	高岡市観光ボランティアグループ「あいの風」 定例勉強会	講演「高峰譲吉の功績」	仁ヶ竹主幹
9月24日、10月1日	富山新聞文化センター 高岡ふるさと探訪シリーズ「利長を知る」(2回)	講演「保存率ほぼ100% 奇跡の「水堀」が現存する古城」 現地講座「高岡城跡」	仁ヶ竹主幹
9月25日	高岡まちあるきの会 「赤いれんがと産業建築まちあるき」産業博覧会をめぐるコース	旧美術館施設の案内・解説	仁ヶ竹主幹
9月29日、 令和5年2月9日	高岡ロータリークラブ 卓話(2回)	講演「国指定史跡・日本百名城 高岡城の魅力」 講演「絵図・古文書にみる高岡城跡」	仁ヶ竹主幹
10月27日	高岡市生活環境文化部 令和4年度 海外自治体幹部交流協力セミナー(ニューヨーク事務所管内) 地方交流事業	再現展示「松楓の間」の視察対応・説明	仁ヶ竹主幹

10月29日	高岡フラワーライオンズクラブ 例会	講演「国指定史跡・日本百名城 高岡城の魅力」	仁ヶ竹主幹
12月16日	富山大学芸術文化学部 講義「文化政策概論」	当館の概要説明・展示解説	仁ヶ竹主幹
12月16日	金沢大学国際基幹教育院 進化経済学会 観光学研究部会 第48回研究会	講演「高岡の成り立ちと推移 ～金沢との 関わりを意識して～」	仁ヶ竹主幹
令和5年1月12日	高岡市ボランティアガイド「比奈の会」 研修会	講演「新資料展 -国宝指定答申記念 勝 興寺関連文書を中心に-」	仁ヶ竹主幹
令和5年1月20日、 2月3日、3月10日	高岡市福岡歴史民俗資料館 古文書講座(3回)	古文書講座の講師	仁ヶ竹主幹
令和5年2月10日	高岡市ボランティアガイド「保与の会」 研修会	講演「加賀藩、前田家初代藩主は？」	仁ヶ竹主幹
令和5年2月15日	(一社) 富山県住宅地協会の 新春講演会	講演「高峰讓吉の偉業」	仁ヶ竹主幹
令和5年2月16日	高岡商工会議所 高岡スタートアップ塾(第5講)	講演「県西部の偉人に学ぶ ～高峰讓吉 のベンチャー精神に学ぶ～」	仁ヶ竹主幹
令和5年2月17日、 3月3日	(公財) 高岡市民文化振興事業団 令和4年度高岡市生涯学習センター講座 「歴史都市・日本遺産『高岡』の魅力」(2回)	講演「高峰讓吉の生涯」 講演「古文書にみる農民の暮らし」	仁ヶ竹主幹
令和5年2月24日	(一社) 富山県建築士事務所協会高岡支部 新春研修会	講演「前田利長・利常による高岡のまちづくり」	仁ヶ竹主幹
令和5年2月26日	高岡市教育委員会文化財保護活用課 2022年度「産学官に基づいた地域資料継承支援事業」成果報告会	講演「勝興寺関連文書について」 質疑応答・ディスカッション	仁ヶ竹主幹
令和5年3月12日	高岡市立北般若公民館 文化講演会	講演「北般若について」	仁ヶ竹主幹
令和5年3月14日	高岡商工会議所 総務・組織運営常任委員会	常設展示解説「高岡市立博物館の現況について」 講演「高岡市立博物館整備構想報告書について」	仁ヶ竹主幹
令和5年3月31日	(株)アーキジオ 創業70周年記念講演会「利長は城山で何を見、何を考え、何を想ったのか」	講演「日本百名城・国指定史跡『高岡城跡』の魅力」 鼎談「未完都市『高岡』の原点と温故知新」	仁ヶ竹主幹

② 委員派遣 計9件

③ 出演 計12件

④ 寄稿 計4件

⑤ 監修・制作協力 計5件

⑥ 当館茶室「松聲庵」での子ども茶道体験の実施

- ・日 時 6月2日(木) 午前9時30分～11時
- ・参加者 NPO法人親と教員の会 幼稚園「こどものその」年長児ほか14人
- ・指 導 近藤 宗美 氏(裏千家淡交会高岡支部名誉師範)

⑦ 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」生徒の受け入れ

- ・日 程 7月5日(火)～7日(木)
- ・実習生 4人(高岡市立牧野中学校)
- ・内 容 実習(資料調査・整理、資料のクリーニング作業、受付業務等)

⑧ 小中学生向けの自由研究、調べ学習をサポート「教えて！学芸員」の実施(夏休み期間)

- ・日 程 8月11日(木)
- ・参加者 1人(高岡市立高陵小学校5年生)
- ・内 容 高峰讓吉の功績について学芸員が参加者からの質問に回答

⑨ 博物館実習生の受け入れ

- ・ 日程 9月13日(火)～17日(土)
- ・ 実習生 1人(金沢学院大学大学院)
- ・ 内容 実習(資料調査・整理、資料のクリーニング作業、収蔵庫清掃、受付業務等)

⑩ 資料貸出 計6件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	北前船関係資料	12件23点	伏木観光推進センター	於・高岡市伏木北前船資料館【継続】
2	帳場格子、大福帳等	3点	土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会	於・高岡市土蔵造りのまち資料館【継続】
3	伝・村上九郎作《二匹鯛》	1点	石川県立歴史博物館	令和4年度夏季特別展「工芸教育の精華－納富介次郎とデザインの思想－」(R4.7/23～8/28)
4	獅子頭(内免神明町獅子舞保存会寄贈)	1点	内免神明町自治会	内免神明町公民館に常設展示【永年貸与】
5	「Skip To Takaoka」カセットテープ(図第11号,08.12.15)	1点	個人	楽譜おこし、デジタル化
6	須賀月真工房陶製型(No.90・237・238)	3点	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所	科学研究費にともなう調査

⑪ 写真提供 計57件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	トミカ車玩具「トヨタクラウンクシー」	1点	(株)MaK office	『トミカ歴代名車コレクション』(第2号)(株朝日出版社。R4.5/31発行)
2	年未詳6月17日付前田利長書状(奥村長兵衛宛)、芭蕉・浪化(尾崎康工画編『俳諧百一集』1765年)、草相撲番付	3件6点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン21「道は知っているの編」(R4.5/9～7/3放送)
3	高岡関野神社の母衣武者写真(博労町・平米町・元町・鴨島町(大旗)、宮脇町1丁目、白銀町、梶原町、利屋町)	8点	高岡ケーブルネットワーク(株)	生中継「令和4年度 高岡御車山祭」(R4.5/1放送)
4	銭橋	1点	(株)ベネッセコーポレーション	第1回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試「日本史」(R4.9月掲載)
5	商売繫染双六、高岡商店双六	2点	個人	「サカサカ」HP(坂下町の記憶展)
6	「越中国高岡関野神社祭礼繁昌略図附録」(1883年)	1点	高岡ケーブルネットワーク(株)	生中継「令和4年度 高岡御車山祭」(R4.5/1放送)
7	絵葉書「桜馬場公園入口」、大日本職業明細図之内／高岡市・伏木町及中伏木・新湊(部分／大正14年)等	3点	富山新聞社	富山新聞創刊特集「連載「あこのころ、富山新聞は」(R4.5/1、5/2発行)」
8	蠟管蓄音機	1点	(株)ネクサス	テレビ東京「開運！なんでも鑑定団」(R4.5/24放送)
9	高岡中古之図、大日本職業別明細図	2点	個人	調査研究
10	帆船と蒸気船	1点	(株)ROLE	店のデザイン(市内)(R4.夏頃開業)
11	内島北朗作「越中瀬戸焼 飴釉窯変茶碗」(正面、高台、窯印・銘拡大の各4点)	1件5点	個人	『蓮の実』尾形乾女著増訂版(R5.10/6掲載)
12	高岡市立博物館外観	1点	高岡市産業振興部観光交流課	高岡御車山会館特別展示「御車山祭ポスター～1970年代から80年代を中心に～」(R4.5/18～10/31)
13	絵葉書「高岡桜馬場の景」(1909～18年頃)	1点	中日新聞社北陸本社高岡支局	紙面掲載「とやま写真館」(R4.5/29付)

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
14	早苗西蔵(『高岡市史』下巻)、片原町交差点古写真(1950年代)	2点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン21「道は知っている編」(R4.6/6～7/3放送)
15	徳川家康書状(しきのギャラリー蔵)	1点	朝日新聞社富山総局	紙面掲載
16	伏木灯明台(明治中期)	1点	北日本新聞社	フリーマガジン「まんまる」8月号特集記事(R4.7/14発行)
17	高峰譲吉肖像(スーツ姿)、タカチアスターゼ看板(当館蔵)等高峰譲吉関係資料	5点	(株)小学館	小学館サイト『和楽Web』企画 高峰譲吉の人生(R4.8月掲載)
18	神初家文書のうち「朗らかな芸術の夕べ」プログラム	1点	富山新聞社	紙面掲載[富山新聞連載「あこのころ、富山新聞は」(R4.7/6付)]
19	大村三書堂広告、1950年代の片原町交差点古写真等	6点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン22「建築探偵編」(R4.8/8～10/2放送)
20	高峰譲吉肖像	1点	NHK富山放送局	NHK「ニュース富山人」「ニュース845」(R4.7/12放送)
21	高峰譲吉肖像	2点	(株)北日本新聞社西部本社	紙面掲載 高峰譲吉紹介記事(R4.7/19付)
22	絵葉書「伏木港 けんかやま 5月15日 伏木郵趣会」(1976～81年頃)	3点	(株)北日本新聞社メディアビジネス局	北日本新聞創刊記念紙面(R4.8/1掲載)
23	映画『輝く孝道』DVD	4点	Love Showers	上映会(西本願寺富山別院にてR4.9/18、9/19公開)
24	高峰譲吉関連写真	12点	読売新聞富山支局	紙面掲載
25	高峰譲吉肖像など関連資料	7点	(株)北日本新聞社西部本社	紙面掲載(R4.7/22付)
26	絵葉書「高岡古城公園」、越中国射水郡高岡町全図等	3点	個人	論文執筆
27	絵葉書「伏木公開堂」(1907～18年頃)、絵葉書「東宮殿下の台覧に供したる獅子舞 其二(伏木休憩所)」	2点	個人	「伏木歴史まちめぐり」(R4.10/20公開)
28	ポスター「北陸三県合同原子力平和利用大博覧会」	1点	(株)第一学習社	高等学校用世界史副教材(R5.2月発行)
29	前田利長画像(長光寺本複製)、前田利家画像(光禅寺蔵)	2点	読売新聞東京本社	紙面掲載 加賀百万石に関する特集記事(東京版夕刊/R4.8/16付)
30	タカチアスターゼ薬瓶	1点	(株)ニュートンプレス	『くすり大図鑑』の台湾版「VISUAL BOOK OF MEDICINE」
31	絵葉書「(高岡名所)八丁道」	1点	北陸中日新聞	紙面掲載「とやま写真館」(R4.8/28付)
32	伏木港、戸出工業団地等伏木関連資料	10点	富山県教育会	『きょう土のすがた富山県』(R5.3/31発行)
33	高峰譲吉関係資料	6点	高岡税務署	伝統的酒造り啓発のための資料(動画)作成(令和4年度中にYou Tubeで公開)
34	伝近藤勇所用当世具足(大本山国泰寺蔵/当館寄託)	1点	(株)トリックスター	BSフジ「日本史の新常識」(R4.10/8放送)
35	高峰譲吉関係写真	9点	東京富山県人会連合会	月刊誌「富山と東京」(東京富山県人会連合会発行、R4.11月～R5.3月号掲載)
36	林忠正肖像写真(長崎圭爾氏蔵)	1点	読売新聞金沢支局	紙面掲載 林忠正の記事(R4.10月掲載)
37	帆船と蒸気船	1点	高岡商工会議所青年部	高岡ロケーション! 来られスポットをゲットだけ!! で使用する動画(R4.10/10開催)
38	二匹鯛	1点	石川県立歴史博物館	石川県加賀刺繍史論説文への挿図(R5.3/31掲載)
39	高岡関係古写真	23点	富山テレビ放送(株)	高岡信用金庫100周年記念CM (R4.12月放映開始)、記念式典当日の朝刊(北日本新聞、R5.3/16付掲載)
40	「雲龍山勝興寺」(『二十四輩順排図会』より)	1点	第一法規(株)	『月刊文化財』令和4年12月号表紙解説(R4.11/25掲載)
41	「高岡中古之図」	1点	高岡ケーブルネットワーク(株)	映像記録「神迎えを守り継ぐ 二番町宵祭2022年の記録」(R4.12月発行)
42	高岡関係古写真	6点	富山テレビ放送(株)	高岡信用金庫100周年記念CM (R4.12月放映開始)、記念式典当日の朝刊(北日本新聞、R5.3/16掲載)、2023年カレンダー (R4.12月以降配布)

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
43	「雲龍山勝興寺」(『二十四輩順拝図会』より)、銅版画「雲龍山勝興寺実地全景之図」等勝興寺関連資料	5件6点	北陸銀行伏木支店	勝興寺の国宝記念で勝興寺ロビー展開催(R4.12月上旬～1月中旬)
44	高岡市街図、高岡市商品陳列所商品目録等	4件16点	個人	1929年前後の高岡市商品陳列所の活動についての調査研究
45	高峰讓吉肖像(大礼装姿)	1点	北日本新聞社黒部支局	宇奈月温泉開湯100周年のテーマ紙面(R5.1/4掲載)
46	半鐘	1点	高岡市消防団定塚分団	定塚分団広報誌「まとい」(R4.12月掲載)
47	前田利長画像(長光寺本複製)	1点	株式会社かみゆ	『歴史人』2023年3月号(R5.2/6掲載)
48	高岡市街鳥瞰図	2点	文化庁文化財第二課	『近代遺跡調査報告書-社会-』で清水町浄水場を紹介
49	藤井能三肖像(個人蔵)、帆船と蒸気船(大正期)等、伏木関係資料	5点	株式会社北陸チューリップ	高岡市の伏木小学校150周年記念DVD(R5.2/16発行)
50	1900年パリ万博日本館パビリオン	1点	株式会社日経映像	「新美の巨人たち」[テレビ東京(R5.2/18放送)、BSテレ東(R5.2/26放送)]
51	絵葉書「前田利長公御廟所」、絵葉書「高岡関係/桜雲ノ八町道 瑞龍寺の遠望」等	8件11点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン23「ふたつの国宝編」(R5.2/6～4/2放送)
52	前田利長画像(長光寺本複製)	1点	能美ふるさとミュージアム	令和5年度特別展チラシ・ポスター・展示パネル(R5.6月上旬～7月中旬予定)
53	機械化された鋳物工場(大正3年/釜万鋳工)	1点	ヤマヤ物産(有)	金屋町旧鋳物工場跡地を含む周辺整備構想(案)作成のための資料
54	渾天儀	1点	株式会社帝国書院	中学校社会科歴史的分野教科書『社会科 中学生の歴史』(仮称)(令和7.4.1発行)
55	高岡高校旧校舎(昭和53年当時)(『富山県立高岡高等学校創立80周年記念誌』より)	1点	北日本新聞社デジタル戦略局	北日本新聞社の総合情報サイト「webunプラス」内におけるタレント、モーリー・ロバートソン氏の連載「モーリーの富山青春記」資料写真
56	明治後期の高岡米穀取引所の写真、「大日本職業別明細図之内高岡市・伏木町及中伏木・新湊町」、高岡ガイドのイベントプログラム	3件4点	株式会社北國新聞社	北國新聞社出版物「あこのろ、富山新聞は」(R5.5/1発行)
57	川巴良諏訪神社春季例大祭(昭和37年、川巴良諏訪神社蔵)、母衣武者行列(昭和20～30年代頃、大場家蔵)	2点	かわら散索会	「恵比須塔」(R5.4/10掲載)

⑫ 資料撮影・掲載 計14件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	改井徳寛《思念》、《老婆の像》	2点	鳥取県立博物館	令和4年度企画展「安岡信義と鳥取近代洋画のバイオニア」での調査研究
2	瑞龍寺仏殿軒丸瓦、同軒平瓦	2点	市川考古博物館(千葉県)	金属瓦研究
3	高岡捺染関係資料(写真、解説パネル等)	一括 (約50点)	個人	高岡の産業分野とスポーツ分野との融合に関する企画立案の参考
4	高岡市商工奨励館リーフレット、高岡市特産品案内リーフレット等	7点	個人	卒業論文執筆
5	カーバイドランプ	1点	個人	製造元に関する調査研究
6	西園寺公望書簡	1点	富山テレビ放送(株)	富山テレビ放送特別番組「国賊と呼ばれた林忠正」(R4.8/14放送)にて紹介
7	木津楼関係資料(各種地図・広告類)	一括 (約10点)	個人	先祖調査
8	高岡産業博覧会案内、観光のしるべ等	6点	個人	クラフト市場街のイベントに合わせた町歩きイベント企画
9	油町絵図	7点	油町自治会(市教育委員会 文化財保護活用課)	油町地藏尊の調査
10	『巨人 高峰博士』、『商工世界太平洋臨時増刊6 第8巻第10号 発明世界の四十七士』	2点	個人	ウイスキー製造にかかる調査研究
11	絵葉書「高岡公園運動場/桜」等の高岡古城公園関係絵葉書	8点	チューリップテレビ	高岡市特番 (R4.9/21、10/30放送)
12	高峰譲吉関連資料、常設展示資料(林忠正関係、万博賞状等)	一括 (約10点)	(株)ルート・アンド・パートナーズ	県の事業におけるイベント、旅行会社への紹介
13	高岡市街図、「高岡市商品陳列所商品目録」(大正～昭和期)等	2件14点	個人	1929年前後の高岡市商品陳列所の活動についての調査研究
14	堀田家文書	25点	小樽商科大学グローバル戦略推進センター 研究支援部門地域経済研究部	文部科学省科学研究費 学術変革療育(A) 持続可能な水資源ガバナンスのミクロ実証分析「北海道小樽における海運史と地域社会に関する研究」における、高岡市(伏木港)と小樽の関連についての調査研究

⑬ その他の協力 計20件

- ・ (公財) 日本城郭協会「日本100名城スタンプラリー」(平成19年6月2日～)
- ・ 高岡テクノドームへの博物館サテライトギャラリーの実施(平成30年10月1日～)
- ・ 高岡市教委学校教育課『高岡再発見プログラム11』スタンプラリー(4月23日～12月11日) 811人
- ・ とやま呉西圏域連携事業 歴史文化の学び交流事業「交流講座」への講師派遣協力(令和3年10月より継続)
- ・ 富山くすりフェア実行委員会 富山くすりフェア「謎解きイベント」開催による謎解きキット2種の設置(令和3年度より継続)
- ・ 高岡ケーブルネットワーク番組『歴史都市 高岡ふしぎ帖』〔シーズン21/道は知っている編(第1～4話)〕資料提供・出演(5月9日～7月3日放送)
- ・ 富山シティエフエム番組「ものしり富山学」(当館・常設展・館蔵品展の紹介)出演(6月20日～24日放送/全5回)
- ・ 富山シティエフエム番組「越中むかしものがたり」内の歴史探訪コーナー(常設展・館蔵品展・特別展の紹介)出演(7月6日～27日放送/全4回)
- ・ 高岡商工会議所「藤子・F・不二雄先生のふるさとたかおか GO!GO!スタンプラリー2022」(7月23日～9月30日)
- ・ 高岡ケーブルネットワーク番組『歴史都市 高岡ふしぎ帖』〔シーズン22/建築探偵編(第1話～4話)〕資料提供・出演(8月8日～10月2日放送)

- ・北日本放送(株)(KNBラジオ)『とれたてワイド朝生!』内「歴史都市高岡・まちとひと(高峰譲吉)」コーナー出演(8月16日放送)
- ・高岡市広報広聴室 高岡市行政情報番組『もっと!ホット!高岡』(高岡ケーブルネットワーク(株)製作)特別展「没後100年 高峰譲吉記念展」出演(8月22日~28日放送)
- ・小学館ウェブサイト『和楽Web』への掲載・配信(「高峰譲吉の人生」/8月~)
- ・北日本放送(株)(KNBテレビ)「このまちと生きる ~文化創造都市高岡~」出演(「松楓殿」/8月)
- ・富山県成長戦略室 富山ゆかりの偉人等を活用した海外プロモーション・関係人口拡大事業等への協力
- ・高岡商工会議所「松楓殿」第2期再現展示開催にかかる展示資料、展示パネル等の監修
- ・高岡市広報広聴室 高岡市ラジオ広報「PICK UP! たかおか」(株)ラジオたかおか)①特別展「没後100年 高峰譲吉記念展」、②館藏品展「新資料展 - 国宝指定答申記念 勝興寺関連文書を中心に-」展示紹介・出演(①10月7日、②12月2日放送)
- ・高岡市広報広聴室 高岡市行政情報番組『もっと!ホット!高岡』(高岡ケーブルネットワーク(株)製作)館藏品展「新資料展 - 国宝指定答申記念 勝興寺関連文書を中心に-」出演(12月12日~18日放送)
- ・高岡ケーブルネットワーク番組『歴史都市 高岡ふしぎ帖』〔シーズン23/ふたつの国宝編(第2~4話)〕資料提供・出演(令和5年2月20日~4月2日放送)
- ・高岡市広報広聴室 高岡市行政情報番組『もっと!ホット!高岡』(高岡ケーブルネットワーク(株)製作)館藏品展「昔の道具とくらし」出演(令和5年2月27日~3月5日放送)

## (7) レファレンス

高岡の歴史・文化などに関する照会・回答 111件

## (8) インターネット等による広報・普及

- ・ホームページ 年間総アクセス数 231,915件
- ・全国の博物館・美術館収蔵資料データベース「文化遺産オンライン」(文化庁運営)への資料情報公開件数 計1,222件
- ・発行済の館報「博物館だより」(29件)、展示解説「博物館ノート」(10件)の公開
- ・当館公式ツイッター(ツイート12,322回、フォロワー1,584人)
- ・フェイスブック(投稿3,811回、いいね2,371件)による広報
- ・新聞等への当館関連記事掲載 計182件
- ・当館案内リーフレット〔①日本語版 ②英語版 ③中国語(簡体字)版〕の館内配架及びネット公開
- ・当館収蔵展示資料の撮影、ネットへの公開を個人利用に限り許可(平成29年2月4日~)
- ・当館が所蔵(保管)する一括資料目録のネット公開(令和元年11月~)

### 3 収集・保存活動

#### (1) 購入資料 (計24件263点。受入順)

No.	資料名称	数量	分類
1	年未詳(1610～13年カ) 7月29日付 前田利長書状(三糸もん宛)	1	歴史
2	年未詳4月22日付 前田利長書状(宛所不明)	1	歴史
3	『伏木港 THE PORT OF FUSHIKI』(発行:高岡市建設部港湾課。昭和24年12月)	1	歴史
4	『実業之日本』第10巻第1号(発行:実業之日本社。明治40年1月)	1	歴史
5	料亭開業広告(高岡公園池の端通り 池の端亭)(店主・木津勝太郎)	1	民俗
6	米買仕切書〔藤井能三→渡辺太平(御代 庄次郎)。明治5年5月8日付〕	1	歴史
7	映画チラシ「日本海大海戦」(配布:高岡大和劇場。昭和44年8月13日より公開)	1	民俗
8	勝興寺本堂再建に付本願寺17世法如勸募消息写(勝興寺第19世法薫筆)(天明8年9月12日付)	1	歴史
9	筏井竹の門画賛《紙本淡彩檜扇図》(大正11年10月)	1	美術
10	『俳諧 金花伝』上下巻(尾崎康工編。明和9年)	2	歴史
11	写真「高岡駅氷見線(EF70、キハなど)」(昭和59年5月7日撮影)	1	歴史
12	高岡桜馬場・花より軒ラベル「桜あんころ」・「さくらおやき」	2	歴史
13	『実地 養蚕演説』(田島棟平編。発行:文友堂(埼玉)。明治22年12月)	1	歴史
14	『越中志徴』(稿本)(森田柿園著。江戸末～明治期)	22	歴史
15	越中絵図(文政8年以降)	1	歴史
16	顕微鏡(五十嵐家旧蔵)(江戸後～明治期)	1	民俗
17	ガラス乾板(五十嵐家旧蔵)	7	歴史
18	和歌短冊・色紙帖(五十嵐政雄喜寿記念等)(3冊。江戸後～昭和初期)	209	美術
19	絵葉書「伏木電話開通記念」(発行:NIKKODO。明治41年1月)	3	歴史
20	絵葉書「明治四十二年北陸行啓 御野立所(高岡公園)」(発行:高岡市・棚田書房。明治42～大正7年頃)	1	歴史
21	絵葉書「高岡ホテル庭園」(発行:明治印刷(株)。大正8～昭和4年頃)	1	歴史
22	2銭官製葉書(高岡競馬場新設記念。昭和12年7月14日消印)	1	歴史
23	「最新精密地図 高岡市/伏木港 高岡市全図」〔制作:富士波出版社(東京・新潟)。発行:博文苑堂書店。昭和36～39年頃)〕	1	歴史
24	EPLコード「金屋町/万葉情歌」(作詞・作曲・歌:梅原司平。編曲:かみ たかし。企画制作:金屋町高岡鑄物史料館。昭和55年以降)	1	民俗

#### (2) 寄贈資料 (計57件321点。受入順。一括資料は仮に100点と計上)

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
1	看板「日清紡績高岡工場職工募集事務所」(大正～昭和中期頃)	1	歴史	高畑弘樹氏
2	富山県内外・高岡市内各種地図、観光リーフレット、パンフレット、町村誌、絵葉書など	(一括)	歴史	北浦 隆氏
3	ラチウチキ(中耕除草機)(明治～昭和戦後)	3	民俗	澤田宣亮氏
4	センバコキ(千歯抜き)(明治～昭和戦後)	1	民俗	
5	ベイセンキ(米選機)(明治～昭和戦後)	1	民俗	
6	桜井梅室句賛・堀川敬周画《紙本墨画淡彩富士図》(江戸後期)	1	美術	匿名希望
7	『イリュストラシオン』第115・116巻(パリ万博銅版画。明治33年)	2	歴史	
8	『1900年パリ万博日本館パビリオン』(石版画。明治33年)	1	歴史	
9	俳誌『熱』第27・28・31号(大正8年。同年4月15日号に筏井竹の門句2句掲載)	3	歴史	
10	俳誌『新俳句』〔上原三川・直野碧玲瓏編。発行:民友社。大正元年(第7版)〕	1	歴史	
11	俳句選集『新選一萬句』〔今井栢浦編。発行:博文館。明治41年(第3版)〕	1	歴史	
12	俳句選集『続春夏秋冬』(河東碧梧桐選。発行:俳書堂初山書店。明治39～40年)	4	歴史	
13	俳句選集『新春夏秋冬』〔松根東洋城選。発行:俳書堂初山書店。大正5年(再版)〕	1	歴史	

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
14	俳句選集『ホトトギス雑詠集』(高浜虚子選。発行:四方堂。大正4年)	1	歴史	匿名希望
15	俳誌「ホト、ギス」第12巻第3号(発行兼編集人:高濱 清。発行:ほととぎす発行所。明治41年)	1	歴史	
16	俳誌『林檎』第1集・第2集(発行兼編集人:綾木紅潮。発行:林檎社。大正14年)	2	歴史	
17	『竹乃門遺墨集』(編・発行:寺田彦式。昭和2年)	1	歴史	
18	『巨人高峰博士』(橋爪恵編。発行:三共株式会社。昭和6年)	1	歴史	
19	『商工世界 太平洋 臨時増刊6 第8巻第10号「発明界の四十七士」』(発行:博文館。明治42年)	1	歴史	
20	絵葉書「富山県立高岡高等女学校」(明治41～大正7年頃。未使用)	1	歴史	匿名希望
21	絵葉書「(高岡名勝)高岡の大仏」(「1935.11.10」消印。昭和前期)	1	歴史	
22	地形図「高岡」(発行:参謀本部。1/25,000。昭和5年修正測図(明治43年測図))	1	歴史	
23	羽広屋勘作宛中嶋屋新七書簡(椀屋喜兵衛へ為替渡すに付)(明治8年7月24日付)	1	歴史	太田久夫氏
24	「米穀輸送証明書」(農林省富山食糧事務所高岡支所長 笠谷英俊。昭和30年10月5日付)	1	歴史	
25	親鸞聖人御誕生八百年慶讃法要懇志進納状[本山(西本願寺)→高岡教区関野組西大寺(木町1-6、本願寺派)藤森勇吉。金1万円。昭和45年11月19日付]	1	歴史	
26	記章類(国勢調査記念章、農業調査員記章など。明治～大正期)	5	歴史	
27	古府焼 湯呑(窯元・河村心清、六渡心六。昭和44～同60年頃)	5	民俗	
28	青貝塗梅花文丸盆(カシユ漆塗装。昭和後期)	1	民俗	
29	親鸞著『七高僧和讃』・『正像末浄土和讃』(後欠)(版本)	2	民俗	山口信司氏
30	のり刷毛(昭和期)	1	民俗	
31	木琴(昭和44年)	1	民俗	
32	竹馬(昭和47～48年)	2	民俗	
33	五十嵐政雄宛委嘱状(①立憲政友会富山県支部創立委員、②富山県貿易協会常議員)(①明治33年、②明治37年)	2	歴史	小竹史剛氏
34	堀川敬周筆《紙本着色龍虎図屏風》(江戸後期。2曲1隻屏風)	1	美術	
35	堀川敬周筆《紙本墨画淡彩色紙貼交屏風》(江戸後期。8曲1隻屏風)	1	美術	
36	堀川敬周筆《紙本淡彩松に群鶴図》(江戸後期)	1	美術	
37	寄せ書き図巻(立野雪郷、中野双山ら6名。大正7年)	1	美術	
38	高岡市白金町表具商・稲垣伊助帳簿(昭和3～5年)	1	歴史	白雲堂・稲垣順一氏、吉田 茜氏
39	加賀藩藩札(江戸～明治期)	5	歴史	
40	小川芋銭書簡(筏井竹の門宛)(大正7年12月5日付。封筒付属)	1	歴史	須賀正紀氏
41	「高岡持久会第十回浄瑠璃見立鑑」(発行:塩谷印刷所。大正5年)	1	歴史	
42	「高岡持久会素人浄瑠璃見立鑑」(大正9年)	1	歴史	
43	①筏井竹の門画・筏井嘉一歌 短冊 ②筏井嘉一歌 短冊(①②ともに大正期)	2	美術	
44	高岡駅ホーム看板「たかおか」(2代目高岡駅ホームに掲げられたもの。大正5～昭和41年)	1	民俗	狩野 勉氏
45	紙幣各種(10銭1枚、1円3枚、10円4枚)	8	歴史	山本榮一氏
46	地籍図(内島)(印刷物。近代)	4	歴史	杉江勇夫氏
47	屏風の下貼文書(明治～昭和期)	(一括)	歴史	和田日出雄氏
48	筏井竹の門書簡(①6月15日付、②10月19日付、③年月日不明、④10月3日付、⑤12月11日付)	5	歴史	匿名希望
49	高倉一二画《上高地》(昭和～平成期)	1	美術	園木四郎氏
50	日の丸寄せ書き(昭和期)	1	歴史	
51	男物高足駄(爪掛。昭和戦前。未使用)	2	民俗	坪田孝弘氏
52	女物高足駄(爪掛・畳表。明治～昭和戦前。未使用)	2	民俗	
53	通い徳利(1升入り)(2点は「岩城」)	3	民俗	
54	和田隆一商品製 高岡漆器類(現・株)ガランドウ。昭和20～30年代。全て輸出漆器)	23	民俗	和田将典氏
55	高橋政直(生源寺新村四郎三郎)由緒書(元禄11年8月)	1	歴史	窪池武人氏
56	短刀 銘 幸重(室町期)	1	美術	
57	梅田年風筆《紙本墨画淡彩俳諧百一首図屏風》(江戸後期。6曲1双屏風)	2	美術	吉田 清氏・節子氏

### 収蔵資料分類一覧表

資料別大分類			区分	件数	点数
I 歴史資料	1,170件	13,172点	1. 歴史資料	1,170件	13,172点
II 民俗資料	1,157件	7,990点	1. 衣食住 2. 交通 運輸 通信 3. 民俗芸能 娯楽 遊戯等 4. 人生儀礼 5. 交易 6. 民俗知識 7. 年中行事 8. 社会生活 9. 信仰	505件 63件 226件 26件 108件 153件 28件 33件 15件	3,932点 109点 2,137点 62点 321点 894点 446点 60点 29点
III 産業資料	479件	8,240点	生産 生業資料	479件	8,240点
IV 美術資料	620点	1,302点	1. 金工 2. 漆芸 3. 陶芸 4. 木竹石工 5. 染織 6. 日本画 7. 洋画・版画 8. 彫刻 9. 書	91件 106件 53件 4件 5件 164件 47件 22件 128件	113点 189点 101点 28点 5点 306点 125点 23点 412点
総計	3,426件	30,704点		3,426件	30,704点

※平成29年度受け入れ分より、一括資料を100点として計上。

(令和5年3月末現在)

### (3) 保存活動

展示室・収蔵庫等の温湿度管理、裏打・軸装、桐箱作成、中性紙封筒・箱での保存、収蔵庫清掃、害虫侵入対策、二酸化炭素ガスによる資料燻蒸等

## 4 調査・研究活動

- ・収蔵資料及び未調査資料の調査整理(調査・整理・登録・撮影・データベース化等)
- ・収蔵資料の収集・分類・整理方針にかかる調査研究
- ・今後の企画展(特別展・館蔵品展等)、常設展にかかる調査研究
- ・国登録有形民俗文化財「高岡鋳物の製作道具及び製品」の国指定重要有形民俗文化財指定にかかる当館収蔵鋳物資料の調査
- ・収蔵資料情報のデジタル化による資料管理(デジタル・アーカイブの推進)
- ・「産学官連携に基づいた地域資料継承支援事業」による高岡市伏木地区の古文書等歴史資料の調査研究
- ・その他の調査・研究
- ・各種研究会・研修会、講座等への参加 計6件
  - 〔富山県歴史資料保存利用機関連絡協議会〕令和4年度総会・講演会(5月19日)
  - 〔北信越博物館協議会〕第64回北信越博物館協議会総会・研究協議会(6月1日／福井市)
  - 〔公益財団法人日本博物館協会〕令和4年度全国博物館長会議(7月6日／オンライン)
  - 〔日本博物館協会〕第70回全国博物館大会(11月16～18日／高知市)
  - 〔文化庁〕令和4年度ミュージアムPR研修(令和5年2月28日、3月2日～3日／オンライン)
  - 〔富山県博物館協会〕令和5年度研修会・分野別分科会(令和5年3月2日)

## 5 高岡市立博物館に親しむ会との連携

高岡市立博物館に親しむ会は、博物館の活動を支援するほか、高岡の歴史と文化に親しみ、相互に親睦を図る活動を行うことを目的に平成25年3月6日に設立されたものである。郷土高岡への理解を深め、市民に親しまれる新しい博物館づくりを進めている。

○会員数 292人(一般277人279口、賛助15人16口)

○各部会、役員会の開催

- ・広報部会 5月18日(水)、6月22日(水)、9月28日(水)、12月6日(火)、令和5年1月27日(金)
- ・ワークショップ部会 令和5年1月11日(水)
- ・研修部会 令和5年2月28日(木)
- ・役員会 令和5年3月16日(木)

○事業内容

◇総会 4月21日(木) 午後1時30分～2時30分

◇講演会 演題『入門「博物館学」』

講師 山本総括主査

出席者数 19人

◇呈茶席-博物館で抹茶を楽しみませんか-(全て土曜。全8回／参加者累計235人)

[春] 4月23日 27人、5月14日 21人、5月21日 41人、5月28日 24人

[秋] 9月10日 24人、9月17日 23人、10月1日 30人、10月15日 45人

時間 各日午前11時～午後3時

協力 小嵐晴美氏(同会ワークショップ部会長。古儀茶道敷内流)ほか

◇郷土史を訪ねて「歩く博物館-1万歩ウォークでふるさと再発見-」(全4回/参加者累計67人)

回	日 時	内 容	参加人数
1	4月23日(土) 午後1時30分～3時30分	(33)「二上射水神社の祭礼を鑑る」(徒歩)	15人
2	5月26日(木) 午前9時30分～12時40分	(34)「小杉町を少し歩いて、歴史と文化を知る」 (あいの風とやま鉄道・徒歩)	14人
3	6月23日(木) 午前9時45分～正午	(35)「山町筋と金屋町の『中間地帯』を探索する」 (徒歩)	23人
4	10月20日(木) 午前9時40分～午後3時50分	(36)「松任を、駅前で見巡る」 (あいの風とやま鉄道など・徒歩)	15人

講師 いずれも樽谷雅好氏(研修部会長)



呈茶席(春)



第36回 歩く博物館「松任を、駅前で見巡る」

◇高岡古文書ボランティア(原則第3土曜。全12回/参加者累計101人)

(通算75回)4月16日(土)10人、(76)5月20日(金)4人、(77)6月18日(土)11人(78)7月16日(土)8人、(79)8月20日(土)4人、(80)9月16日(金)5人、(81)10月14日(金)8人、(82)11月19日(土)6人、(83)12月17日(土)12人、(84)1月21日(土)11人、(85)2月18日(土)12人、(86)3月18日(土)10人

各日午後2時～3時30分

◇版画講座-木版画で年賀状を作ろう-(全2回)

日 時	講 師	参加人数
11月11日(金)、11月18日(金) 午後1時30分～午後3時	水上悦子氏 (木版画講師、親しむ会理事)	11日6人 18日6人



高岡古文書ボランティア



版画講座

[ボランティア活動協力]・屋上開放、歩く博物館、呈茶席8回 のべ34人

[広報誌「鍛冶丸」発行] 第16号 (A4版、800部)

[クリアファイル作成] (A4版、各500枚)

- ・「雲龍山勝興寺」〔『二十四輩順拝図会 越中越後 三』(1803年)より〕
- ・三代歌川広重《大日本物産図会「越中国鉄物細工之図」》(1877年)

[ミュージアムショップの運営]

- ・オリジナルグッズ (トートバッグ、クリアファイル) の制作と販売
- ・ドラえもんグッズ、郷土史関連図書・図録等の販売

[役員名簿] ※令和5年度総会資料参照のこと

## II 管理運営の状況

### 1 職員名簿

職名	氏名	任用
館長	廣瀬 由美子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団嘱託職員
主幹	仁ヶ竹 亮介	公益財団法人高岡市民文化振興事業団職員
総括主査	山本 成子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団嘱託職員
主任学芸員	宇川 恵里	公益財団法人高岡市民文化振興事業団職員
学芸員補	北野 晶子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員
学芸員補	鹿本 航汰	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員
学芸員補	平 佳明	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員（～8月）
学芸員補	山口 貴子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員
事務員	山田 玲子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員（10月～）

※受付員：島寿男（～12月）、山田早苗、森朝子、林洋子、武部孝則（10月～2月）

### 2 歳出予算（令和4年度事業別）

（単位：千円）

	事業名	前年度	本年度	差異
管理費	施設管理費	11,584	12,152	568
	人件費（事業団職員分のみ）	19,864	14,414	▲ 5,450
	小計	31,448	26,566	▲ 4,882
事業費	調査研究費	357	353	▲ 4
	講演講習会費	362	340	▲ 22
	資料整備保存費	4,646	6,597	1,951
	特別展	951	1,034	83
	常設展（館藏品等含む）	1,415	1,427	12
	小計	7,731	9,751	2,020
合計		39,179	46,068	6,889

### 3 高岡市立博物館協議会

職名	氏名	任用
学識経験者	晒谷 和子	元高岡市立博物館館長
	日和 祐樹	高岡市文化財審議会会長
	中葉 博文	富山県立高岡南高等学校再任用教員
学校教育	横山 美智子	高岡市小学校長会代表（高岡市立千鳥丘小学校長）
	寺田 恵	高岡市中学校長会代表（高岡市立福岡中学校長）
	西川 著春	高岡地区高等学校長会代表（高岡南高等学校長）
社会教育	本保 澄雄	高岡観光ボランティアガイド「やまたちばな」会計
	米澤 陽子	地域女性ネット高岡会長
	坂林 彩未	高岡市PTA連絡協議会副会長
その他	竹中 伸行	伝統工芸高岡銅器振興協同組合理事長
	柴田 治之	伝統工芸高岡漆器協同組合理事長
	佐野 正太	高岡商工会議所青年部理事

〔敬称略・順不同。任期2年（令和4年2月1日～令和6年1月31日）〕

## 4 高岡市立博物館条例

平成17年11月1日  
条例 第206号

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)に基づき、高岡市立博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 高岡市立博物館  
位置 高岡市古城1番5号

(事業)

第3条 博物館は、歴史、民俗、産業などに関する資料を収集し、保管し、及び展示して、教育的配慮のもとに一般公衆の利用に供し、その教養、調査、研究等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究を行うものとする。

(博物館協議会)

第4条 法第20条第1項の規定に基づき、高岡市立博物館協議会を置く。

2 高岡市立博物館協議会は、委員12人以内をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験を有する者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

(指定管理者による管理)

第4条の2 博物館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせる。

(指定管理者が行う業務)

第4条の3 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 事業の実施に関する業務
- (2) 利用の許可に関する業務
- (3) 利用に係る料金の取受及び決定に関する業務
- (4) 施設及び設備の維持管理に関する業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、高岡市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認める業務

(開館時間)

第4条の4 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとし、展示室へ入室できる時間は、午後4時30分とする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、教育委員会の承認を得て、これを変更することができる。

(休館日)

第4条の5 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、教育委員会の承認を得て、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日以外の日)
- (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日

(観覧料)

第5条 博物館の展示資料を観覧しようとする者が、博物館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)として納める観覧料は、無料とする。

2 前項の規定にかかわらず、特別展示等を行う場合の観覧料は、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て別に定める。

3 前項の観覧料は、指定管理者に観覧の際、前納しなければならない。

(施設の利用)

第6条 博物館の施設のうち次に掲げるものを利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない

附 則(平成17年12月22日条例第272号)

(施行期日)

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、改正前の高岡市立博物館条例第6条の規定によりなされた許可は、改正後の高岡市立博物館条例第6条の規定によりなされた許可とみなす。

附 則(平成19年3月22日条例第17号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月22日条例第10号)抄

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第1条及び第5条から第12条までの規定は、平成24年4月1日から施行する。

(高岡市立博物館条例の一部改正に伴う経過措置)

5 この条例の施行の際現に第2次一括法による改正前の博物館法(昭和26年法律第285号。以下「旧博物館法」という。)第21条の規定により高岡市教育委員会が任命した高岡市立博物館協議会の委員(以下この項において「旧委員」という。)である者は、施行日に第8条の規定による改正後の高岡市立博物館条例(以下この項において「新条例」という。)第4条第3項の規定により高岡市立博物館協議会の委員として任命されたものとみなす。この場合において、その任命されたものとみなされる委員の任期は、新条例第4条第4項の規定にかかわらず、施行日における旧委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。い。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

(1) 企画展示室(展覧会等開催のため第1企画展示室、第2企画展示室及び第3企画展示室を占用して利用する場合に限る。)

(2) 茶室

(利用の制限)

第7条 指定管理者は、前条の規定により利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又は利用を停止することができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (2) その利用が博物館の目的に適しないと認めたとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、博物館の管理上特に必要があると認めるとき。

2 前項の規定による処分をした場合において利用者に損害が生ずることがあっても、指定管理者は、その責めを負わない。

(利用権の譲渡等の禁止)

第8条 利用者は、利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(原状回復の義務)

第9条 利用者は、博物館の施設の利用を終了したときは、直ちに原状に回復しなければならない。第7条第1項の規定により、利用の許可を取り消されたときも、同様とする。

(入館の制限)

第10条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を制限し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけるおそれがあると認められる者
- (2) 展示品又は施設、設備等を損傷するおそれがあると認められる者
- (3) 博物館の管理上必要な指示に従わない者

(施設利用料)

第11条 利用者は、利用料金として別表に掲げる額の範囲内で指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て定める額の施設利用料を納めなければならない。

2 施設利用料は、利用許可の際、納入しなければならない。

(施設利用料の減免)

第12条 指定管理者は、教育委員会規則の定めるところにより、施設利用料を減額し、又は免除することができる。

(施設利用料の不還付)

第13条 既納の施設利用料は、還付しない。ただし、指定管理者は、特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付す

ることができる。

(利用料金の収入)

第14条 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(損害賠償)

第15条 利用者は、建物その他付属設備、器具等を損傷し、又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年11月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)の前日までに、合併前の高岡市立博物館条例(昭和45年高岡市条例第23号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定

によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

附 則(平成26年3月20日条例第52号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表(第11条関係)

名 称	施 設 利 用 料	
企画展示室	1日につき	9,900円
茶 室	1日につき	4,400円

備考

- 1 冷房又は暖房利用料は、施設利用料の2割に相当する額とする。
- 2 利用に際し、入場料又はこれに類するものを徴収する場合は、施設利用料の5割に相当する金額(入場料又はこれに類するものが1,000円以下の場合にあっては、3割に相当する金額)を加算する。
- 3 施設利用料の算定に当たって、10円未満の端数を生じたときは、当該端数は切り捨てるものとする。

## 5 高岡市立博物館条例施行規則

平成17年11月1日  
教育委員会規則第39号

(趣旨)

第1条 この規則は、高岡市立博物館条例(平成17年高岡市条例第206号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(協議会の組織)

第2条 条例第4条に規定する高岡市立博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は、委員の任期による。

3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議の招集)

第3条 会議は、必要に応じ会長が招集する。

(議事)

第4条 協議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(利用許可の申請)

第5条 条例第6条の規定により、高岡市立博物館(以下「博物館」という。)の施設の利用許可を受けようとする者は、利用許可申請書を指定管理者に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、利用期日(利用しようとする日が引き続き2日以上であるときは、その初日)の6箇月前から2週間前までの間に提出しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(利用の許可)

第6条 指定管理者は、博物館の施設の利用を許可したときは、利用許可書を交付するものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成17年11月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の高岡市立博物館に関する規則(昭和45年高岡市教育委員会規則第6号)の規定によりなされた手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

附 則(平成17年12月22日教委規則第61号)

(施行期日)

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに、改正前の高岡市立博物館条例施行規則の規定によりなされた手続その他の行為は、改正後の高岡市立博物館条例施行規則の規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

(利用許可の取りやめ及び変更)

第7条 利用の許可を受けた者は、利用の取りやめ又は変更について許可を受けようとするときは、利用取りやめ(変更)申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(施設利用料の減免)

第8条 条例第12条の規定により、施設利用料の減免を受けようとする者は、施設利用料減免申請書を指定管理者に提出しなければならない。

2 施設利用料の減免の範囲及び割合は、別表のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めて高岡市教育委員会の承認を得たときは、この限りでない。

3 施設利用料の減免額の算定に当たって、10円未満の端数を生じたときは、これを10円として計算する。

(施設利用料の還付)

第9条 条例第13条ただし書の規定により施設利用料を還付する場合は、次の各号に掲げる区分に応じ当該各号に定めるところによる。

(1) 条例第7条第1項第3号の規定により、指定管理者が利用許可を取り消したとき全額を還付する。

(2) 災害その他不可抗力により利用することができなくなったとき 全額を還付する。

(3) 前2号に掲げるもののほか、指定管理者が還付を必要と認めるとき8割相当額を還付する。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

別表(第8条関係)

企画展示室、講堂及び茶室の施設利用料(冷暖房利用料は除く。)を減免する場合

利用区分	減免率
市又は教育委員会の主催する場合	100%
市又は教育委員会の共催する場合	50%

## 6 入館者数（「小人」は中学生以下。単位：人）

### ①常設展「高岡ものがたり -楽しく知ろう!ひらめき・ミュージアム-」

会期：4月1日（金）～令和5年3月31日（金）（開催日数308日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
12,584	2,512	10,613	2,149	27,858

### ②館蔵品展「昔の道具とくらし」

会期：4月1日（金）～7月10日（日）（開催日数87日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
3,973	696	3,509	624	8,802

### ③特別展「没後100年 高峰讓吉記念展」

会期：7月30日（土）～10月10日（月・祝）（開催日数63日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
3,345	858	2,687	731	7,621

### ④館蔵品展「新資料展-国宝指定答申記念 勝興寺関連文書を中心に-」

会期：11月26日（土）～令和5年1月15日（日）（開催日数39日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
1,001	86	747	46	1,880

### ⑤館蔵品展「昔の道具とくらし」

会期：令和5年2月4日（土）～3月31日（金）（開催日数48日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
1,667	244	1,427	158	3,496

総計（開催延日数545日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
22,570	4,396	18,983	3,708	49,657

過去5年間の入館者数

H29	H30	H31/R1	R2	R3
49,638	58,048	63,367	33,960	34,708

### Ⅲ 施設の状況

#### 1 沿革

- 昭和44年(1969) 市制施行80周年・開町360年記念事業として高岡市美術館(昭和26年築)に隣接して建設することを決定。
- 8月 建設設計を完了。
- 10月 建設工事を着工。
- 45年(1970) 3月 建設工事を完了。高岡市立博物館条例を公布。
- 6月 高岡市立博物館に関する規則を公布。
- 開館。
- 8月 高岡市立博物館協議会委員委嘱(12人)。
- 46年(1971) 2月 博物館法(昭和26年法律第285号)第10条の規定に基づく公立博物館として文部省及び富山県教育委員会に登録。
- 10月 淡交会高岡支部より茶室を寄贈される。
- 平成6年(1994) 4月 美術館の移転分離により、旧美術館棟を博物館棟(現本館)として財産登録。
- 高岡市立博物館条例を一部改正。
- 8月 高岡市立博物館整備検討委員会設置(以後平成10年1月まで6回会議)。
- 8年(1996) 4月 財団法人高岡市民文化振興事業団へ管理運営委託。
- 10年(1998) 2月 高岡市立博物館整備検討委員会により「高岡市立博物館整備検討委員会報告書」が高岡市に提出される。
- 10月 本館で常設展「郷土の暮らしと文化」開催。
- 12年(2000) 新館1階収蔵庫改修工事の実施。
- 14年(2002) 7月 ホームページを公開。
- 18年(2006) 4月 財団法人高岡市民文化振興事業団が指定管理者となる。
- 19年(2007) 7月 常設展を「高岡ものがたり」にリニューアル。
- 11月 高岡市立博物館整備構想検討委員会設置(以後平成21年度まで継続)。
- 20年(2008) 11月 常設展リニューアル以後の入館者3万人を達成。
- 22年(2010) 2月 高岡市立博物館整備構想検討委員会より「高岡市立博物館整備構想報告書」が高岡市に提出される。
- 10月 デジタルアーカイブ推進事業を開始(～平成25年3月)。
- 23年(2011) 本館収蔵庫改修工事の実施。
- 10月 『二上射水神社文書目録』を編集。
- 24年(2012) 4月 指定管理者の財団法人高岡市民文化振興事業団が公益財団法人に移行。
- 10月 「収蔵資料検索システム-あなたの家が博物館-」の運用開始。
- 25年(2013) 3月 高岡市立博物館に親しむ会設立。
- 4月 佐渡家資料調査事業を開始。
- 常設展示室に「お宝コーナー」開設。
- 6月 常設展「高岡ものがたり」音声ガイド5台導入。
- 27年(2015) 3月 『佐渡家資料目録』を編集・発行。佐渡家資料調査事業を終了。
- 4月 高岡古文書ボランティア部会(親しむ会)設立。
- 28年(2016) 5月 本館入口付近の壁面等落下のため、本館正面玄関を閉鎖。
- 12月 本館正面玄関修繕工事の実施。
- 29年(2017) 6月 国登録有形文化財「高岡鋳物の製作用具及び製品」の国指定重要指定に向けた当館収蔵鋳物資料の調査開始。
- 9月 本館屋根瓦葺き替え工事の実施。
- 10月 本館天井張り替え工事の実施。
- 30年(2018) 10月 博物館サテライトギャラリーの開設(於・高岡テクノドーム)。
- 31年(2019) 3月 高岡市立博物館に親しむ会が発足5周年を迎える。
- 令和元年(2019) 11月 博物館が所蔵(保管)する一括資料目録のネット公開を開始。
- 令和2年(2020) 4月 新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館(4/18～5/17)。
- 6月 高岡市立博物館開館50周年を迎える。
- 8月 高岡市立博物館開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」を開催(8/1～10/11)。
- 3年(2021) 8月 新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館(8/18～9/12)。
- 4年(2022) 7月 高峰讓吉別荘「松楓殿」関係資料展示室の開始(新館第3企画展示室にて通年開催)

## 2 施設概要

所在地	富山県高岡市古城1番5号
敷地面積	1,298.6㎡
建築面積	1,214.91㎡
建築延面積	1,905.21㎡
開館	昭和45年6月1日
構造	鉄筋コンクリート造一部木造平屋建て(本館・事務棟) 鉄筋コンクリート造3階建て(新館)



博物館前景

### 〔本館〕

エントランスホールB	81.00㎡
第1常設展示室	243.00㎡
第2常設展示室	145.80㎡
休憩室	35.64㎡

### 〔新館1階〕

収蔵庫A	48.50㎡
第1企画展示室	97.20㎡

### 〔新館2階〕

第2企画展示室	145.80㎡
第3企画展示室	51.84㎡

### 〔新館3階〕

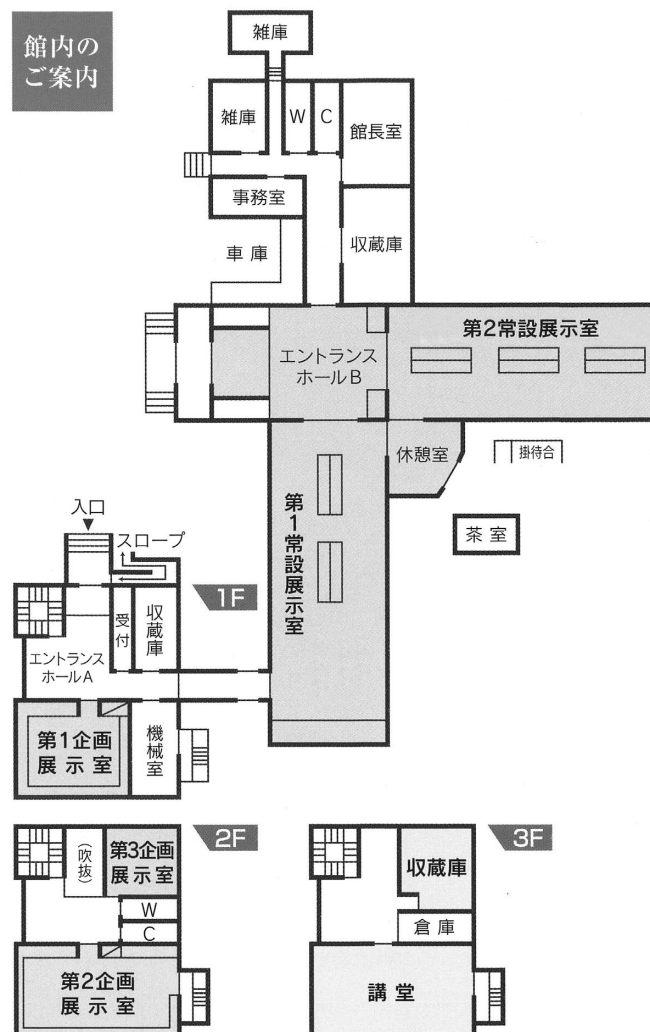
講堂	145.80㎡
収蔵庫C	64.80㎡
展示用具倉庫	17.70㎡

### 〔事務棟〕

収蔵庫B	48.50㎡
館長室	49.50㎡
事務室	27.50㎡

### 〔茶室〕

九畳本勝手下座床・水屋付き	29.48㎡
腰掛待合 三畳半	11.08㎡



### 3 利用案内

- ①開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）  
 ②休館日 月曜日（ただし月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌平日が休館）  
 年末年始（12月29日～1月3日）

③入館料 無料

④施設利用料（税抜）

〔企画展示室〕 一日につき	第1企画展示室	3,000円
	第2企画展示室	4,500円
	第3企画展示室	1,500円

〔茶室〕 一日につき 4,000円



茶室「松聲庵」

⑤交通

〔JR新高岡駅より〕・南口バス乗り場（1番または2番）で加越能バス「高岡駅」方面に乗車、「高岡駅南口」バス停下車

・JR城端線で高岡駅へ

〔高岡駅より〕

・加越能バス「市民病院・職安前」行き、「大手町」バス停下車、徒歩5分

・徒歩約15分（高岡駅前より北東約1km）

〔自動車〕

・能越自動車道 高岡ICから約20分

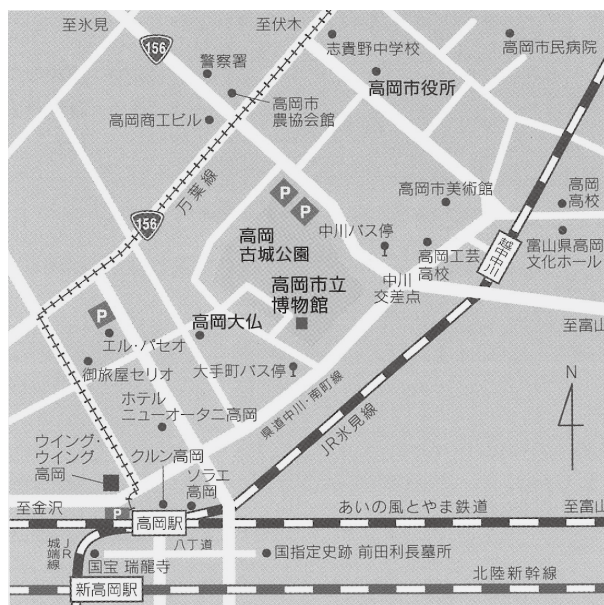
高岡北ICから約25分

・北陸自動車道 高岡砺波スマートICから約15分

小杉ICから約30分

砺波ICから約30分

〔周辺略図〕



## 高岡市立博物館年報 第37号

令和4年度

---

発行日	令和6年2月29日
編集・発行	高岡市立博物館 〒933-0044 富山県高岡市古城1-5 TEL : 0766-20-1572 FAX : 0766-20-1570 URL : <a href="https://www.e-tmm.info/">https://www.e-tmm.info/</a>
印刷	キクラ印刷株式会社